

日 時	令和5年9月21日(木)	15:30～17:00
場 所	岐阜市役所6-1大会議室	
出席者	精神科医療機関	3名
	精神科クリニック	2名
	訪問看護事業所	8名
	関係団体・機関	9名
	基幹相談支援サテライト	3名
	行政機関	8名
	合計	33名

○検討テーマ…「精神障がい者が地域で安心して暮らすために」について

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（以下、「にも包括」）の強化に向けて、各医療機関、関係機関、団体が担っている役割や課題を相互に理解することで、ネットワークを強め、地域で支えていくために、どのようなことができるのかを協議した。

1. はじめに

- ・岐阜市障害者総合支援協議会専門部会での「にも包括」の位置づけについて
- ・第3回専門部会の趣旨について

2. 精神障がい者が地域で安心して暮らすために

～精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて～（資料1）

- 1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは
- 2) 岐阜市の相談支援体制（精神保健分野）について
- 3) 参考精神障がい者が地域で安心して暮らすために

3. グループワーク

目的：他機関の業務や強みを理解するとともに、自分が所属する機関の強みを再確認する。

また、精神障がい者が地域で安心して暮らすために、どのようなことができそうか、方策を協議する。

架空事例（統合失調症と診断を受けている40代男性、70代母と二人暮らし）をもとに、6グループに分かれて協議。

グループワークテーマ：

- ① 自分が所属する機関で、どのようなことができそうか。
- ② 自分が所属する機関で、「こんなことできたらいいな」「こんなことしてみたい」と思うこと。

4. 意見交流

◇グループワークで話し合われた内容を2グループ発表する

①について

- ・医療機関では、気になる患者の情報を事前にもらえれば受診のタイミングをつかんで、生活状況や話などを聞けるチャンスを伺って声掛けし、話を聞くことができる。
- ・地域包括支援センターでは、まずは母との信頼関係を築きつつ、本人に関わる機会を作っていく。
- ・訪問看護事業所では、薬の管理や、内科の受診等病院に繋いだり、生活環境を良くするための支援等ができそうである。

②について

- ・地域住民の方と精神疾患のある方の交流や、精神疾患は他人事ではなく自分もなりうるということを知ってもらう機会があるとよい。
- ・本人を中心において、本人に関わる人たちの意見交換の場（会議）が作れるとよい。本人や家族が、様々なところとつながり、話せる場所がたくさんあることによって、不安な気持ちが軽くなるとよい。
- ・訪問看護師が訪問した時、自分の車に乗せて受診することができないが、緊急時にはそういうことが必要な場合が多いため、できるようになるとよいと思う。
- ・障がいであるという申し出があって困り事を相談されるが、診断されたことがないとなると、障害福祉サービス、訪問看護等の利用が出来ず、支援ができなくなるという部分がある。訪問看護や支援機関などの利用がなくても、なんでも話せるような人がいれば、そこから支援の幅が広がっていくのではないか。

5. まとめ

- ・「にも包括」の概要について出席者間で共有し、岐阜市の「にも包括」構築に対する考え方と精神保健の概念について確認した。
- ・岐阜市における相談支援体制について確認した。
- ・関係機関の相互理解が進むことにより、各支援間の隙間が埋まり、ネットワークの網目が細くなる。そのことが地域で支えることにつながる。
- ・各機関が連携することにより、チームでの支援となる。そのことは、支援者の孤立化を防ぎ、当事者に対し継続的な支援がしやすくなる。
- ・「にも包括」の推進のためには、地域で支える人達から意見を聞き、地域課題を見つけていくことができるとよい。また、その課題解決のために、今回のような協議会で協議する場を継続に実施していくことが必要である。

6. 当日の様子



7. 当日アンケートの結果

①本日の専門部会（テーマ別分科会）について

良かった	… 67.7%
概ね良かった	… 23.5%
普通	… 8.8%
あまり良くなかった	… 0.0%
良くなかった	… 0.0%

②「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について

理解できた	… 35.3%
概ね理解できた	… 52.9%
普通	… 11.8%
あまり理解できなかった	… 0.0%
理解できなかった	… 0.0%

③岐阜市の相談支援体制について

理解できた	… 38.2%
概ね理解できた	… 47.1%
普通	… 11.8%
あまり理解できなかった	… 2.9%
理解できなかった	… 0.0%

④各医療機関、関係機関、団体が担っている役割等について

理解できた	… 38.2%
概ね理解できた	… 47.1%
普通	… 11.8%
あまり理解できなかった	… 2.9%
理解できなかった	… 0.0%

⑤グループワークについて

良かった	… 67.6%
概ね良かった	… 26.5%
普通	… 5.9%
あまり良くなかった	… 0.0%
良くなかった	… 0.0%

⑥本日の専門部会で、参考になったことやできそうかなと思ったことについて（自由記載）

- ・訪問看護事業所の頑張りや重要な資源だということが改めて分かった。事業所による違いや強みを把握していきたい。
- ・普段関わっていない機関の話はとても参考になった。

- ・医療や障がいの支援者とゆっくり話す機会があまり無かったので貴重な会だった。
- ・制度・支援以前に大切なことは何かを知ることができた。
- ・何でも話せる人を作って、そこから支援を広げていくことが大切で参考になった。
- ・もっと家族や当事者を入れてほしい。
- ・精神に障がいを持つの方に関わる職種がこんなにたくさんあることを知ることができた。
- ・「にも包括」を初めて聞いた。地域で支えることが出来るよう関わっていききたい。
- ・たくさんの職種が関わるので支援を提供する中で困ったことがあったら相談していききたい。
- ・他職種、他機関の方々と意見交換ができ、色々な考えを知ることができた。
- ・連携を取っていくことの必要性を改めて感じた。
- ・様々な機関と話が出来ることで自分達が何をしたら良いかを考えさせられた。
- ・顔と顔が見えるグループワークは凄く良かった。エリアの病院、包括、訪看、保健センターと話が出来て良かった。
- ・各機関が「繋がっていく」、「連携する」ことを意識していることを知れて良かった。
- ・多職種と顔が見えることにより今後、相談できる関係が増えていけると嬉しい。
- ・各機関の方が出来ることや実際の動きが分かり、今後、相談しやすくなった。
- ・地域住民も含めた情報交流、相談窓口紹介ができるブース等をやりたいと思った。
- ・周囲の人の支えがあれば自立できる人がもっとたくさんいると思う。
- ・困っている時に手を伸ばして下さる機関があること、誰でも精神疾患を発症する可能性があるということ伝えていききたい。
- ・「にも包括」を知らない支援者もたくさんいるため、一人でも多く「にも包括」を語り合える人を増やしたいと感じた。
- ・顔の見える関係はネットワークの強化に繋がっていくことを学んだ。

⑦日々支援する中でこうなるといいな、と感じることについて（自由記載）

- ・日々支援の中での困りごとを持ち寄って、足りない社会資源を作ったり、制度と制度の間を埋めていけるようになると良いと思う。
- ・岐阜市には素晴らしい機関や人材がたくさんいるので、その機関や人材が繋がれるよう集まりがあると良い。
- ・連携の敷居が低くなり、もっと繋がる事が出来ると良い。しかし本人中心であることが大切だとも感じた。
- ・本人に病識が無く、病院受診が出来ていない人に病院受診させるように出来たら良い。
- ・支援の中で困ったことがあった時に、他の職種の方とタッグを組んで訪問したい。
- ・同職種間（訪問看護、医療機関）での精神障がい者の支援について情報共有したい。
- ・専門職だけでなく、一般の方々がどこに相談したら良いか等の情報が広く伝わると良い。
- ・どの機関でも本人と出会うことが大切。誰でも良いので話を聞くことが重要であり、信頼関係を築き、そこから支援に繋がれたら良い。
- ・各障がいでも分断されることなく、必要な人に支援が届けられると良い。
- ・受診同行時は無料で利用できるタクシーやバス等があれば良いと思う。
- ・未受診、受診中断者へのアウトリーチができると良い。
- ・様々な支援者が遠慮なく連絡を取り合える関係になり、ケースを支援していくことが出来ると思う。
- ・地域住民と障がいを持つ方との交流の場、多機関と連携しながら心に寄り添う看護が出来

ると良い。

- ・情報共有も大事だが個人情報を守られていないといけないのではと感じることもある。
- ・誰をキーパーソンにするかにより見解が違うが、支援者目線ではなく、本人の思いを実現できる話し合いがしたい。
- ・当事者の方も地域住民だという意識が必要だと思う。
- ・未治療の方や治療中断者への治療が充実するとよい。

⑧今後取り上げてほしいテーマ、内容について（自由記載）

- ・今回のように和やかに話せる場。
- ・「にも包括」の続き。
- ・家族支援、措置入院後の支援。
- ・障がい者の自立支援や助成金等制度面の勉強会。
- ・障がい者の権利条約について。
- ・事例を通して精神疾患のケア実例を知りたい。
- ・精神保健分野に関わる保健センターの業務について担当者とグループワークを通じて話が出来ると良い。
- ・今日のテーマについて実践事例や好事例から岐阜市で取り組めることを考える。
- ・制度を利用する前の支援の場、相談の場、方法を市民（悩んでいる人、未受診の人）に知ってもらうネットワーク作り。
- ・どのようなテーマでも良いが専門部会そのものを定期的に行っていくことが顔と顔を合わせる為の必要な動きだと思う。
- ・精神保健福祉についての普及啓発。ピアサポートや当事者の会への支援。